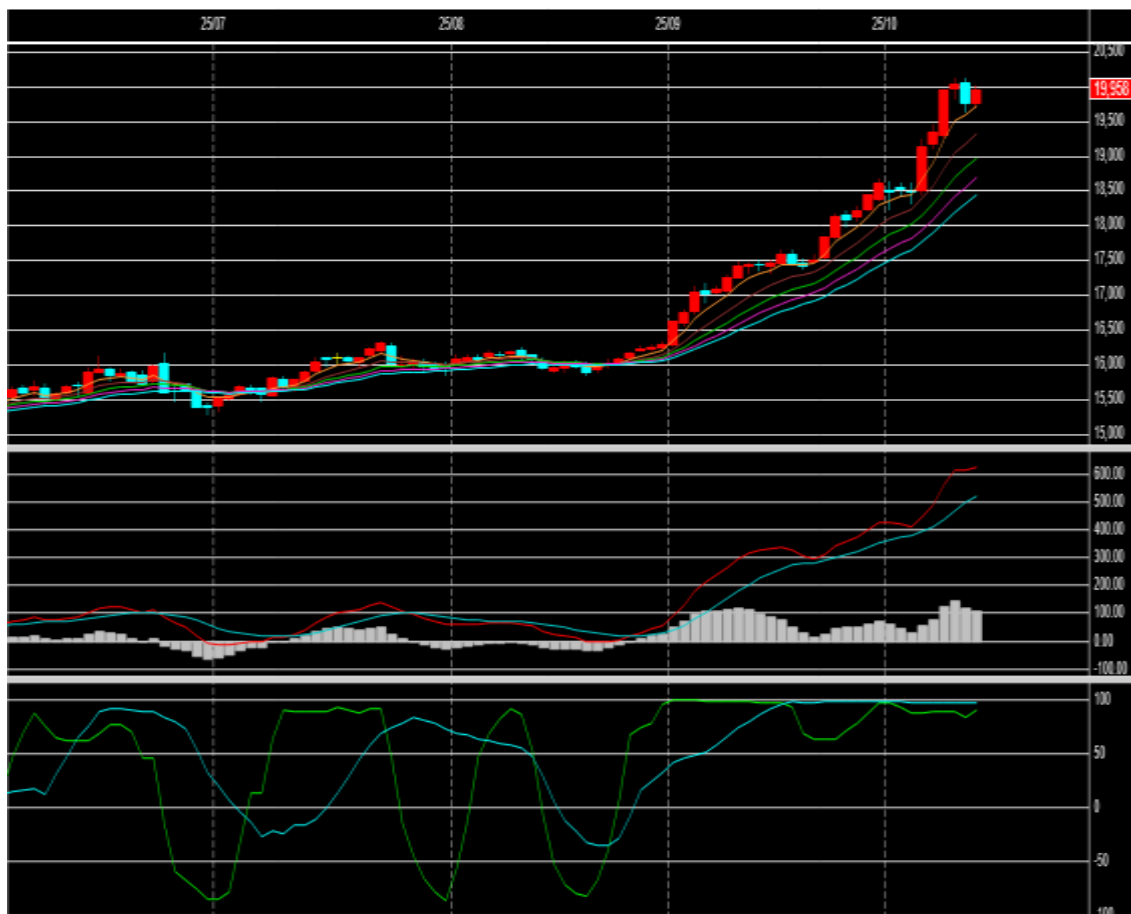


<金標準、対中関税リスクと円高の綱引き・・・>



(出所：オアシス)

トランプ大統領は中国がレアアースの輸出管理を強化した事から、韓国で開催される APEC で習近平主席との首脳会談を「会う意味がない」と発言し、11月1日から対中国関税 100% を課すと発表し、1日以降は対中国関税が 130%へ引き上げられる可能性が高まりを見せている。中国も報復処置として米国船舶が中国の港に寄港する際に特別料金を課す方針を発表している。ただ中国政府は、米国に対する最近の措置は必要かつ防衛的な行動だったとした上で、米国が行動を続けるなら、中国も権益を守るために相応の措置を講じると警告するなど、過熱感を増す関税拡大を避ける発言も行っている。また日本では、公明党が高市自民党総裁の誕生を受け、自公連立からの離脱を発表し、高市トレードの巻き戻しから円高・株安の動きを見せるなど、円建て金価格にとって高値が抑制される動きを見せている。特に週末の NY 金は利益確定に抑えられ高値が止まった動きを見せており、円高の影響を考慮すると目先 20000 円は分岐点に思われる。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD の上昇が止まり、シグナルは上昇している。RCI は短期が下げ渋り、長期は高値を維持している。特に日足が指数平滑移動平均線と重なるなど指数平滑移動平均線のレンジ内に向けた値動きに注意が必要に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取 1,955,000 円(2025 年 10 月 14 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 102,960 円(2025 年 10 月 14 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>